

未曾有の状況こそ安心・安全な保育の実現を求める要望書

1. 要旨

新型コロナウイルス感染症拡大や自然災害など、未曾有の状況である今こそ、広島県内のどの市町で生まれ育っても、子どもの保育を受ける権利を等しく保障し、質の高い安心・安全な保育を実現するべく、広島県の行政責任を発揮していただくよう要望いたします。

2. 内容

- 1) 保育士不足が深刻です。保育士確保のため処遇及び働き方を改善して、保育士への希望が広がるようにしてください。また次世代の人々へ保育の魅力を発信してください。
- 2) 保育室の密集回避のためにも職員の配置基準と施設面積基準を改善してください。
- 3) 待機児童解消を含め経済状況悪化による保育需要増大へ対応してください
- 4) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う人的配置と特別手当を支給してください。
- 5) 保育園職員や子どもの感染が疑われた場合には素早く対応してください。

上記1) について、新型コロナウイルス感染症の対応のため、ますます保育士不足が深刻です。処遇や働き方の改善のための施策はもちろん、保育士の魅力を発信して次世代の保育士を確保するための対策を積極的に講じてください。

上記2) について、保育施設は子どもの命を預かる施設です。西日本豪雨災害や新型コロナウイルス感染症対策の経験を踏まえ、年齢に応じた保育士数の配置基準を見直すとともに、非正規保育士ではなく正規保育士を配置し、保育室の密集回避のためにも子ども一人一人に豊かな保育が提供できるよう施設面積の基準を早急に改善してください。

上記3) について、2020年4月1日現在、広島県内の待機児童は39人でした。経済状況悪化により、保育需要は今後も増えることが予想されます。安心して子どもを産み育て働き続ける環境を整えるため、引き続き待機児童解消のための対策を小規模・企業主導型保育ではなく、真に保護者の希望に叶う保育所の増設のための財源を確保するよう国に意見を挙げてください。

上記4) について、保育士はエッセンシャルワークとして社会を支える専門職者です。保護者と子どもへの緊張度の高い対応や消毒等の業務に日々追われ、非常に疲労困憊しています。感染防止への労力に配慮いただき、特別手当を支給してください。

上記5) について、保育園職員や子どもの感染が疑われる場合に、保健所や関連機関等の素早い対応の指導をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策に関連する情報は、広島県内の保育施設に対し、正確にタイムリーに公平に周知徹底されますよう、各自自治体に指導してください。

2020年12月16日

広島県知事 湯崎英彦 様

団体名 広島県保育団体連絡会
代表者 村上真理
住 所 730-0051
広島市中区大手町5丁目16-18
広島保育センター内